

INDEX 企業名50音順

派遣業として最も大切なことは、人づくりに注力されていることです。私やスタッフを含め人間としての在り方だと考えています。お客様の企業やスタッフの心はどの関りを通して痛感したの思いは、会社経営の根幹にあります。今、最も力を入れているのがスタッフの研修・教育。準備を進めてきた「教育センター」の開設を先据え、「ひとづくり」を担う派遣業を志した設立当初の思いをより具体化した。センターでは、企業のニーズに合わせた専門的な知識や技術に加



え、道徳にもなれます。それによって、能力を確立するためには、人間性を高めることが大切、社会性の高さは極めて重要な特質です。そういった仲間をどんどん増やしていくことで、東日本への支援がすすみます。

今後の事業展開は、派遣でももちろん、現在力をいれている飲食店、エスエー部門のつながりも大々進めます。東海、関東だけ

援に携わるのがでたら、まあ海外では、ベトナムやタイ、インドでの展開を視野にいれています。

「金銭的援助の意義を、背景に、多額の雇用創出によって、身も成長していただきたい」

能力をさらに伸ばす。備えをさらに引き出す。食に出るべきである。人に食に生かすために、世にいてる新たな事業の展開を促す。また、現在支える力を、自らを東エスエーと銘打てる人間につ

ては、会社にはいすかたがた、組織を育て、情を繋ぐ。人財育成を努力

「人づくり」へ教育拠点を開設

<http://www.co-info.jp/ido/>

2018年を振り返って
台風や豪雨などの天候で、蜂が流されるなどの被害に遭い、生産量が減りました。また専業の養蜂家は高齢化でリタイアする人も多く、養蜂家としての減少傾向にあります。一方、趣味や副業で養蜂をする人は増える傾向にあり、農業高校などは教育の一環で飼育することが増えています。岐阜県は近代養蜂の発祥の地、もう一度復活させたいです。また昨年は9代目、遠征を率先してやっています。また昨年は9代目の源次郎を襲名しました。気持ちを



に推移しました。新しい流れとして、乳幼児向けの野菜ベビーとした食品が伸びました。また高齢者向けの介護食も伸びており、幅が広がっています。

新たな輪先として、県や県会連合会の協力を得て、リトリートや回収イベントなどことごとく、昨年9月に契約しました。

「アノニスは盟も良い、多い」

中 国内では9割が輸入品です。輸入先は国によって、この高たので、最近はその品定の提供からチャイナリーの流れが起

M 部門はいいがどにか。従前のゼリ、飲料費を中心に好調

相半先ブランドのある産（OE

第3種医薬品、春に市場投入

いる。タヤ緑丸救った眞出雲の 杉原千鶴
 さんのお母様です。
 一般消費者向け品にも力をそ
 けておられます。
 用途ごとに風味が異なる8種類のハ
 ミ芝士は「ちみつDAS」が「一年
 間ベストお取り寄せ賞」を2018の
 パンの部部門で賞をいただいたま
 ま、また賞うろは「芝士の生菓
 子」の機能性フォースとした「生菓
 子を食べて」医薬品を扱った「生菓
 子」を展開中。無添加で、第1種医
 薬品です。力を入れています。

<http://www.akitayahonten.co.jp>

2018年を振り返って
大雪、豪雨、台風、猛暑、そして地震と自然災害が続きました。1945年、年の太平洋戦争終結後、戦後復興（の旗印）として、わが国の経済資本の整備が急速に進みましたが、あれから70年以上が経過し、災害の大きなインフラの老朽化が顕在化しました。私自身も西日本豪雨の際には朝日大学の教職員の協力を得て、愛媛県まで支援に行きました。



Dr. Y. H. Fung

知の拠点として発信し続ける
 へとたわった故郷を進めています。
 ・地域と連携した教育は、
 岐阜県内の商業高等学校を連携し、
 一地域と連携した教育は、
 保健衛生科、そして歯科衛生専門
 学校子への学部、学科等多くの
 入気を迎えて、キャリアパスに活
 気が出てきました。学部ごとの
 誕生しました。県出身の学部
 生は、生計の成算に役立ちま
 した。その成果が、つとま
 合に試験年度は入ると、行概
 計に年度は入ると、行概
 合に試験年度は入ると、行概

五輪に暇を許して学生、また卒業生が、新聞を読んでゐるような閑居をしてゐるものゝ、期待を寄せゐます。

――學長が自指す本教育とは、

「國際來社教育に得る、材のものは、育成を建学の精神に掲げる本學では、本年も優する内外情勢を字に諸君に正確に伝え、自由闊達な議論を経て、自分なりの意見を、これを進めたい、と云ふこと、」知の拠点としてさまざまに、機会を通じて地域社会へ発信、

<http://www.asahi-u.ac.jp>

— 昨年は創業80周年の節目でした。根元が創業し、父に受け継がれ、私へと世代交代が代々進み、感慨深い年となりました。式典を行ったり、九州に慰安旅行をしたり、社員が親睦を深める機会がありました。

— 新工場の場合はどうか。

昨年から本格的に稼働した岐阜工場では、主力のベアリングをはじめホイールハブ、ローラーラッチなど自動車関連部品を生産しています。新たな工場として、生産性や品質の向上が図られています。美濃工場は、工場に隣



Dr. Y. H. Zhang

接した社員を採取。工場改修にて活用しています。

薪炭（3C）の理念も本案の取り組みに沿っています。

きれいな（Clean）、快適な（Comfortable）かついい（Good）を兼ね備えたC現を目指して、社員一人ひとりが顧客に誇りを持ち、モチベーションを高めています。

六ヶ所地区とも考えられています。地域資源にもを入れています。

E一般職のフジシヤルボンプとしてサントクベツチ師範へ入った。地元で働く「オ・オブジ」

ヤバ美濃アゲや空手部スポーツ契約も奨励。地産地消の発展を促しています。また昨から岐阜大学からのイナタシラを受け入れたまま、学生の皆さんも地元での就職機会を増やしています。

近年の需要を聞かれています。来年は米での農産開始が動きます。準備段階として、日本国境の班を設けています。米でも市場での販売と密に交流する体制を整えています。今年は7月鳥取県に取り組みたいとなってます！頑張ります。90年、100年の歴史を持つ環境で働きたい。モーターショールームを持したい。安心と働きやすい環境づくりを待っています。地盤根柢を知り度々度々自覚しています。

<http://www.asahiforge.co.jp/>

